

FIT & LACE での質問内容

徳久雅人 (2003.9/24)

1 FIT(9/10,12)

徳久:意味属性の共起による「AのB」型名詞句の翻訳規則

Q1: 意味属性体系はどうやって決めたのか?

Q2: と の判定で、正解データと一致しないのに、正しいと判定したのは、何を基準にしたのか?

Q3: 相補規則はどれだけ作ったのか?
その数は十分か?

Q4: 形態素解析等のツールは何を使ったのか?

田中:構造的類似文検索アルゴリズムを応用した日本語文型パターン抽出法

Q1: 構造的類似文を集める目的が機械翻訳ならば、格助詞は残したほうが良いのでは?

Q2: 単語を置き換えても、英訳は同じ構文構造となるのか?

佐伯:副詞および形容詞による感情表現性の判定

Q1: 判定者の3名はどんな人か?

Q2: 判定者はイメージ値について知っている人か?

Q3: 機械翻訳で、どのように役立つか?
どれだけ翻訳精度が上がるのか?
快/不快で、訳し分けの分解能力は足りるのか?

Q4: 感情の分類を細かくすると、判定精度はどうなるか?

村上:結合価パターンを用いた音声認識

Q1: 音声認識で、トライグラムなど精度を高めておくとどうなるか?

Q2: IPAL 文ではなく一般文(新聞記事等)で、結合価パターンのカバー率はどうか?

Q3: 対象が話し言葉のとき、格助詞が欠落しているが、どうなるか?

2 LACE(9/20)

安井: 比喩の自動判定に向けて - - - 既存の比喩文との意味ベクトル比較による場合

Q1: 正常文と比喩文の2つに分けるのはなぜか？

ある種の比喩文は、そのまま翻訳しても通じるのでは？

英訳上、注意すべき和文かどうかを判定すればよいのでは？

Q2: 中村明の分類は正しいのか？

中村明と、他の言語学者との比喩分類の違いは？

「心が揺らく」は比喩か？ 使い慣れてきただけなのか？

標準的な結合性との比較という、相対的な判定で、中村明は定めたのか？

Q3: 結合価パターンだけで、比喩を判定すれば十分なのでは？

日本語語彙大系で不足しているところを検出したことにならないのか？

Q4: うなぎ文とどうちがうのか？

「私の娘は男の子だ」はどうか？

文脈上自然なことがあるのでは？

Q5: 日本語語彙大系には慣用句は含まれていたのか？

Q6: 短絡表現は対象としたのか？

「電話(の呼び出し)があった」

Q7: 今後は、結合価パターンの中にどれだけ、慣用句や比喩文が含まれているか調べておく必要があるのでは？

Q8: 時が経つにつれ、新しく比喩が作られるのでは？

Q9: 和語動詞とサ変系動詞のどちらが比喩になっているか？

サ変動詞の比喩文は珍しいのか？

佐伯:副詞と形容詞に着目した日本文の感情表現性の調査

Q1: 用法辞典のイメージ値は、どうやって作られたのか？

著者2名によるものか、統計的調査によるものか？

日本人固有のものか？

Q2: イメージ値がわかれば、どんな風に翻訳をするのか？

感情のプラス・マイナスが訳に立つのか？

イメージ値ではなく単語で判定して翻訳すれば良いのでは？

Q3: 文末の形容詞に絞り分析すれば、シャープに文型の類似性が見られるのでは？

Q4: 1つの日本文に対して複数の訳文があるとわかりやすい。

Q5: 表1の割合の出し方は正しいのか？

Q6: 「ごつい」は連体修飾の場合と述語による場合は違うのでは？

Q7: 英語など日本語以外の言語でのイメージ値は？

Q8: 英語動詞に感情が一体化しているものがあるのでは？

Q9: 翻訳結果は元々複数の正解がある。

翻訳家の育成時には、複数の翻訳正解を用意し、学習者がどれと近い翻訳をするかにより、正解の提示を換えている。